

2019.3.5

第3種郵便物認可

〔月ぎめ購読料2,990円(本体価格2,848円、消費税142円)〕

沖 縄

「再発防止徹底を」

F15機 風防ガラス落下

知事、原因究明を要求

米空軍嘉手納基地所属F15戦闘機が飛行中に操縦席の風防ガラスを落下させた事故を受け、仲井真弘多知事は4日、同機種の風防ガラス落下が過去にも3件発生していることに触れ、「過去にもあったらしいから再発防止をしっかりとやらせてもらわないと困る。嚴重に申し入れるよう(知事公室長に)伝えた」と述べ、原因究明と即時公表、再発防止の徹底を強く求めた。

関係首長「不安が増大」

県の又吉進知事公室長は「昨年に墜落事故を起こしており、極めて遺憾としか言いようがない」と強調。一歩間違えれば大事故につながるなどの認識を示し、「機械的な欠陥なのか、整備や操縦士の人為的なミスなのかを含め、原因を明確にするまで同機種の飛行停止を求めたい」と語った。

野国昌春北谷町長は「同一機種で頻繁に事故が起きるのは、機体の問題があるのではないかと指摘。今回は海上だったが、いつ住宅地域に落ちるか分からない」と懸念を示した。

當山宏嘉手納町長は度重なる事故に米軍の安全管理体制を疑問視。「常に万全を期していると言いつつ、事故が続いている。点検の不備しか考えられない。原因究明まで全機の飛行を停止すべきだ」と飛行停止に言及した。

東門美津子沖繩市長は「

(1面参照)